

## Contents

## ■ Introduction

- 01 経営理念
- 03 フルハシEPOの歩み

## ■ 価値創造ストーリー

- 05 トップメッセージ
- 09 価値創造プロセス
- 11 マテリアリティ

## ■ 成長戦略・ビジネスモデル

- 13 中期経営計画
- 15 セグメント別営業概況
  - バイオマテリアル事業
  - 資源循環事業
  - 環境物流事業
  - その他事業

## ■ サステナビリティ

- 18 バイオマス発電事業への参画
- 19 カーボンニュートラルへの取組み
- 21 環境
- 25 社会
- 27 ガバナンス
- 29 役員一覧

## ■ 財務パフォーマンス・企業情報

- 31 財務・非財務情報ハイライト
- 33 会社概要

## 経営理念

c o r p o r a t e   p h i l o s o p h y

世のため 人のため

地球のため 社員のため

持続可能な社会を創造します

Make the world better

## FULUHASHI Spirits

世の中にとって必要か？ 正しいか？ 環境にやさしいか？

- 自ら未来を創造する -

1. 新しい可能性にチャレンジし、持続可能な社会を実現します。
2. お客様の立場に立って考え、ニーズに応えます。
3. プラス発想と行動力で付加価値を高めます。
4. 知性・技術・感性を育て、使命感を持って仕事に取り組めます。
5. 豊かなところでユーモアを忘れず仕事を乐めます。

## 「FULUHASHI EPO REPORT 2024」の発行に当たって

この度は「FULUHASHI EPO REPORT 2024」をご覧いただき、誠にありがとうございます。

当社は1948年の設立以来、業界のリーディングカンパニーとして、木質バイオマス資源の再資源化と有効活用をきめ細やかなサービス・ソリューションにより事業を拡大し、循環型社会の構築に貢献してまいりました。2024年5月には当社の経営理念である「世のため 人のため 地球のため 社員のため 持続可能な社会を創造します」をもとに中期経営計画を策定し、持続可能な企業としてさらなる価値向上に努める所存です。

本報告書では、経営理念をはじめ、事業活動、中期経営計画、非財務に関する取組み等、当社グループの企業価値創造に関する情報を、わかりやすくまとめています。当社からの発信にとどまらず、ステークホルダーの皆様との対話につなげるため、当社の理念や目指す姿をお伝えします。

■参考ガイドライン  
環境報告ガイドライン2018年版、価値協創ガイダンス

■報告対象範囲  
フルハシEPO単体（一部連結）

■報告対象期間  
2023年4月1日～2024年3月31日  
※一部、対象期間外の取組みも紹介しています。

■発行  
2024年8月（次回2025年8月予定）

■免責事項  
本レポートには、当社の過去と現在の事実だけでなく、将来に関する予測・予想・計画等も記載しています。これらは、記述した時点での情報に基づいた過程ないし判断であり、不確実性が含まれます。したがって、将来の事業活動の結果や将来に生じる事象が本レポートに記載した予測・予想・計画とは異なったものとなる恐れがあります。読者の皆様には、以上をご承知くださいますようお願い申し上げます。

# フルハシEPOの歩み

フルハシEPOは1947年に製材製函業として創業し、1956年に木質バイオマスの利用に着手して以来、独自の技術で日本の木質バイオマスの再資源化を黎明期から支えてきました。2008年以降はバイオマス発電事業に参画しており、これからも既存の枠組みにとらわれず、常に挑戦を続けてまいります。

<b>1947年</b>	製材製函業として創業	<b>1980年</b>	燃料チップ部門業務開始 愛知第二工場(弥富) 開設	<b>2008年</b>	バイオマス発電事業に参画開始 川崎バイオマス発電(株) ジャパンバイオエナジー(株) 設立 (住友共同電力(株)・住友林業(株)との共同出資)	<b>2017年</b>	CEPO半田バイオマス発電(株) 設立 (株)シーエナジーとの共同出資)
<b>1948年</b>	古橋製函(株) 設立	<b>1985年</b>	フルハシ工業(株)に商号変更	<b>2010年</b>	湘南工場 開設(旧フルハシバイオ(株))	<b>2018年</b>	岐阜第一工場(多治見) 開設
<b>1956年</b>	紙パルプ原料チップ部門業務開始	<b>1987年</b>	東海木材資源リサイクル協会発足	<b>2013年</b>	FULUHASHI CORPORATION (VIETNAM) LTD. 設立	<b>2019年</b>	愛知第七工場(半田) 開設
<b>1963年</b>	パレット部門業務開始 愛知第一工場(春日井) 開設	<b>1991年</b>	三重工場 開設	<b>2014年</b>	愛知第五工場(清須) 開設 静岡第一工場(掛川) 開設	<b>2022年</b>	東証スタンダード市場及び 名証メイン市場へ上場 岐阜第二工場(大垣) 開設 西東京工場(入間) 開設
<b>1972年</b>	古橋木材工業(株)に商号変更	<b>2000年</b>	海外事業展開 FULUHASHI CORPORATION (THAILAND) LTD. 設立	<b>2015年</b>	愛知第六工場(豊田元町) 開設	<b>2023年</b>	柏リサイクルガーデン 開設 ロジポート名古屋営業所 開設
	飛島リサイクルパーク 開設	<b>2002年</b>	「国連グローバル・コンパクト」に署名参加	<b>2016年</b>	東東京工場(松戸) 開設		
		<b>2005年</b>					



## 創業期

## 事業拡大期

## バイオマス発電事業参画期

当社は製材製函業として名古屋市熱田区にて1947年に創業、古橋製函株式会社として1948年に設立しました。はじめはミシン荷造箱を中心に製造を行っていましたが、製紙業者との梱包材の取引が始まり、それを足掛かりにして1956年に紙パルプ原料となるチップの製造を開始、1963年には社会的な需要が増していたパレットの製造も開始し、工場(現在の愛知第一工場(春日井))を新たに開設する等、当社の基盤となる事業が確立しました。

その後、1972年に現在の飛島リサイクルパークを開設し、事業拡大を進めていきました。



創業(1947年)



木材チップ生産開始(1956年)

1973年に第一次、1979年に第二次オイルショックが起こり、エネルギー問題への社会的関心が高まりました。当社は1980年に木材チップを石油代替燃料とするために、燃料チップ部門の業務を開始しました。同年に現在の愛知第二工場(弥富)も開設し、さらなるチップ生産体制を整えてきました。

1985年には同業者に働きかけて「東海木材資源リサイクル協会」を発足、東海地区におけるさらなる木材資源の有効利活用を目指しました。1987年には三重工場を開設、そして1991年には海外への事業展開として、タイに現FULUHASHI CORPORATION (THAILAND) LTD.を設立しました。その後も広島工場(旧株式会社グリーンランド)、千葉リサイクルランドを開設し、事業と拠点を拡大してきました。

また、当社がより社会に求められる企業となるよう、2005年に「国連グローバル・コンパクト」に署名参加をしました。



愛知第一工場(春日井) 燃料チップ部門(1984年)



FULUHASHI CORPORATION(THAILAND) LTD. (1991年)

地球温暖化を中心とした環境問題、そしてクリーンエネルギーへの社会的関心が高まる中、当社はバイオマス発電事業に参画を開始しました。2008年、住友共同電力株式会社・住友林業株式会社との共同出資で川崎バイオマス発電株式会社を設立し、同じく共同出資で設立したジャパンバイオエナジー株式会社から、燃料チップを供給しています。

また、2017年には株式会社シーエナジーとの共同出資にて愛知県半田市にCEPO半田バイオマス発電株式会社を設立しました。隣接する愛知第七工場(半田)で生産した燃料チップをコンベアで安定的に供給しています。

そして2022年、当社は東証スタンダード市場及び名証メイン市場に上場しました。当社はさらに事業拡大を進め、持続可能な社会の実現に向けて尽力いたします。



CEPO半田バイオマス発電(株)(2017年)



東証スタンダード市場上場(2022年)



柏リサイクルガーデン(2023年)